

H10.07.31V1.1

受付票発券機
MP-101
取扱説明書
V1.1

ヘルツ電子株式会社

〒433-8103 静岡県浜松市豊岡町62-1

TEL 053-438-3555

FAX 053-438-3411

	目次	Page
1. はじめに	1
2. 本機の概要	1
3. 特長	1
4. 各部の名称・機能	2
5. 使用方法		
5-1. 受付票の発行	4
5-2. 受付番号の加算修正	6
5-3. 受付番号の減算修正	7
5-4. 受付番号のクリアー	8
5-5. 受付票の再発行	9
6. 時刻（時計）の修正	10
7. 紙切れ・記録紙の供給	12
・オートローディングがうまく働かなかった場合	16
・カッターの刃が閉じている場合	17
8. 各種登録・選択処理（メニュー処理）	18
8-1. 診察科名・付属Noの登録（メニュー1）	20
8-1-1. 診察科名の登録	21
8-1-2. 診察科目名一覧表	22
8-2. 時刻印字の選択（メニュー2）	23
8-3. オフセット値の登録（メニュー3）	25
8-4. 発行枚数の設定（メニュー4）	28
8-5. メニュー一覧表	30
9. 仕様	31
10. その他	32

付属

- ・外観・寸法図

安全で快適にお使いいただくために (必ずお読みください)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を説明しています。

絵表示の意味をよく理解した上でお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体が傷害を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。



この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



注意

■全てに共通の取り扱いについて

- 湿気・ほこりの多い場所での使用は避けてください。ほこりや水分が入り、故障・火災・感電の原因となることがあります。



■本機の取り扱いについて

- 本機は、精密部品で作られた電子機器及び無線通信機器です。分解・改造はしないで下さい。事故や故障の原因となります。



警告

■本機の取り扱いについて

- 人命にかかわるような極めて高い信頼性を要求される用途には、ご使用にならないで下さい。



- 電波が届くか届かない曖昧な範囲ではご使用にならないで下さい。





警告

■電源の取り扱いについて

ACアダプタ・電源コードの発熱、損傷、破損、発火などの防止のため、次のことは必ずお守りください。

●ACアダプタ・電源コードを火に近づけたり、火の中に入れて下さい。 ACアダプタ・電源コードが破裂・発火して事故の原因になります。	
●ACアダプタ・本体は、破損・発火事故防止のため、指定された電源電圧以外では使用しないで下さい。	
●濡れやすい場所で、ACアダプタ・本体を使用しないで下さい。 発熱・発火・感電などの事故や故障の原因となります。	
●濡れた手でACアダプタ・本体・電源コード・コンセントに触れないで下さい。 感電などの事故の原因となります。	
●電源コードを破損させないで下さい。 ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	
●電源プラグにほこりが付着したままで使用しないで下さい。 ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	
●ACアダプタに強い衝撃を与えないで下さい。 事故や故障の原因になることがあります。	
●ACアダプタの変形などに気づいたら、使用しないで下さい。 事故や故障の原因になることがあります。	
●引火性ガスが発生する場所では、本体を充電しないで下さい。 発火事故などの原因になります。	
●絶対にACアダプタを分解しないで下さい。 事故や故障の原因になることがあります。	

■使用中に異常が発生したときは

火災・感電などの原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社宛修理を依頼して下さい。

●煙が出たり、変な臭いが出るときは使用を中止し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社宛修理を依頼してください。	
●電源コードが傷んだら使用しないで下さい。 そのまま使用すると火災や感電の原因になります。	

1. はじめに

本書は、受付票発券機「MP-101」（以下、本機と略します）についての取り扱い説明書です。本機の性能を発揮させるために、本説明書を充分にお読み下さるようお願いいたします。

2. 本機の概要

本機は、弊社の順番待ち表示システム「メディコールⅡ」の番号発券機として設計されています。発券番号は1～999までで、発券ボタンを押す度に1番づつ繰り上がった番号が発券されます。

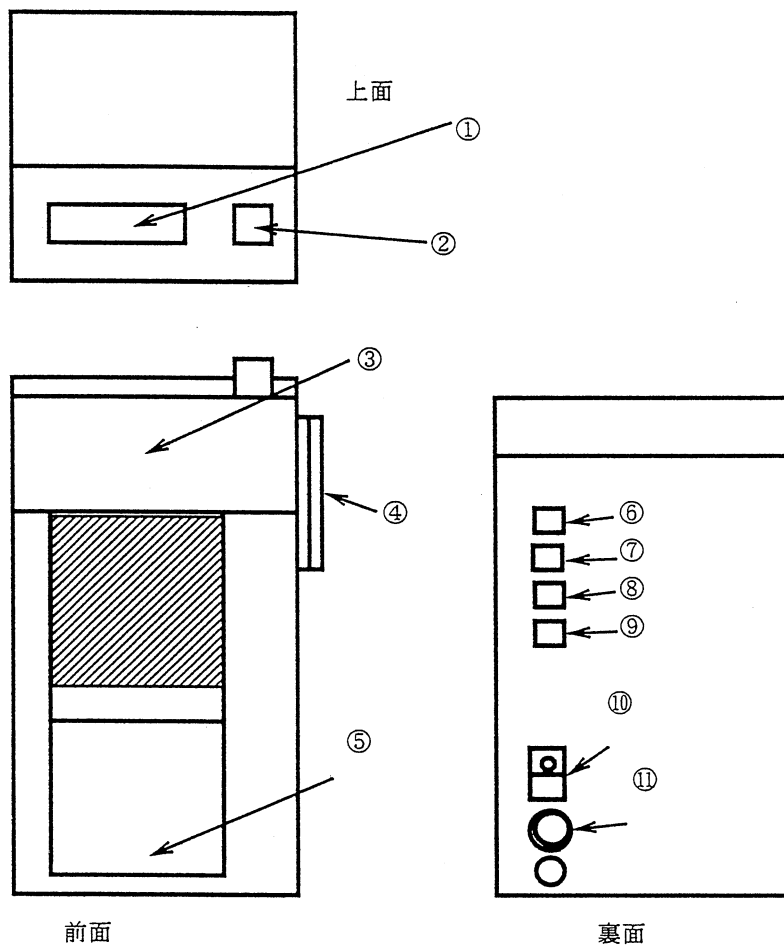
発券は、2枚綴りで発券され、1枚目をご本人が、2枚目を受付に提出します。番号の修正はプラス方向、マイナス方向とも簡単に出来るようになっています。同一番号の再発行も可能です。

券には、番号の他、受け付けられた月、日が印字されます。記録紙切れの場合は、ブザーで知らせる他に表示部に記録紙切れの表示がされます。

3. 特長

- ・印字スピードが早くお待たせしません。
- ・コンパクトな外形のため、受付カウンターに置けます。
- ・2枚綴りのため、受付後の処理が容易です。
- ・1枚目と2枚目はパーシャルカット（1部分残したカット）のため、2枚目の取り残しがありません。
- ・紙詰まりの少ない切り落とし方式の出力です。
- ・記録紙の補充が容易なフロントオープン方式です。
- ・受付番号は、途中で停電があっても失われません（バックアップ）
- ・日付が変わってスイッチが入ると自動的に受付番号は1に戻ります（オートクリアー）
- ・発行ボタンをオプションのカードリーダーにすることにより、お子さん等のいたずら発行を防ぐことが出来ます。

4. 各部の名称・機能



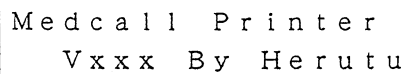
- ① 表示部・・・メッセージ表示用LCDで発券番号、時刻、エラーメッセージ等を表示します。
- ② 発行ボタン・・・発行可能表示灯を兼ねた券を発行するためのボタンで、表示灯が点灯している時に、このボタンを押すと発券されます。ただし、オプションのカードリーダーが付いている場合は、このボタンは、発行可能表示灯のみの機能となり、押しても発券されません。
- ③ 前面カバー・・・記録紙を供給する場合、この部分を開いて供給します。

-
- ④ カードリーダー (オプション) ・ ・ オプションのカードリーダーです。発券可能表示灯が点灯している時に、発行ボタンを押す代わりにカードをスライドさせることにより発券します。
- ⑤ 紙受け ・ ・ ・ 発行された券はこの部分に出券されます。
- ⑥ 再発行 / 年 ・ 時 ・ ・ ・ 同じ番号の券を再発行するためのキースイッチです。時刻の設定時には、年号、時の設定キースイッチになります。
- ⑦ + / 月 ・ 分 ・ ・ 番号をアップさせる (加える) ためのキースイッチです。1度押すと + 1 されます。押し続けると次々に加算されて行きますが " 9 9 9 " 以上にはなりません。
「 - / 日 ・ 秒 」キースイッチと同時に押すと、番号は、クリアされ " 1 " になります。
時刻の設定時には、月、分の設定キースイッチになります。
- ⑧ - / 日 ・ 秒 ・ ・ 番号をダウンさせる (減らす) ためのキースイッチです。1度押すと - 1 されます。押し続けると次々に減算されて行きますが " 1 " 以下にはなりません。
「 + / 月 ・ 分 」キースイッチと同時に押すと、番号は、クリアされ " 1 " になります。
- ⑨ FEED / MODE ・ ・ 紙送りをするためのキースイッチです。押ししている間記録紙を送り続けます。
このキースイッチを押したまま電源スイッチを入れると、時刻の設定モードになります。この時このキースイッチは、次に進むためのキーになります。
- ⑩ 電源スイッチ ・ ・ 電源投入用のスイッチです。
- ⑪ ヒューズ ・ ・ ・ 内部回路保護用のヒューズです。

5. 使用方法

5-1. 受付票の発行

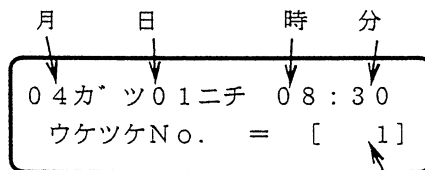
- ① 電源スイッチをONにします。約1秒間タイトルが表示されます。この間内部で自己診断を行っています。



Medcall Printer
Vxxx By Herutu

表示部

- ② 受付票発行画面（通常画面）になり、発行可能表示灯（発行ボタン）が点灯します。

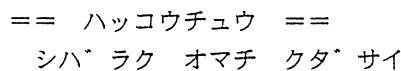


月 日 時 分
04カ*ツ01ニチ 08:30
ウケツケNo. = [1]

表示部

発行される番号

- ③ 発行ボタンを押すかカードリーダーにカードをスライドさせると、ピッと言う音がして受付票の発行を始めます。この時受付可能表示灯は、消灯します。



== ハッコウチュウ ==
シハ*ラク オマチ クタ*サイ

表示部

受付可能表示灯が消灯している間は発行ボタン、カードリーダーは、受け付けません

- ④ 受付票の発行が終了すると、受付番号を+1して標準画面に戻ります。(受付番号が"999"の場合は,"1"に戻ります)

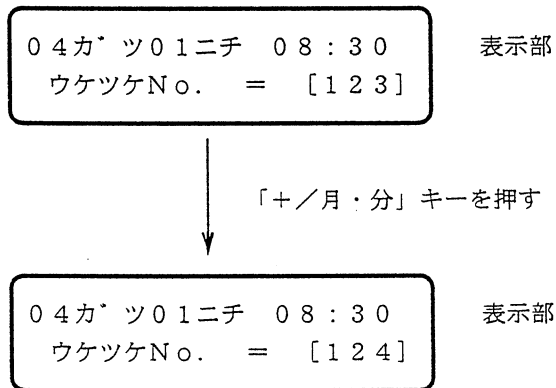
04カ*ツ01ニチ 08:30
ウケツケNo. = [2]

表示部

5-2. 受付番号の加算修正

通常は、受付番号の加算は自動的に行われるため必要ありませんが、なんらかの理由により加算修正が必要になった場合は、次のようにします。

- ① 本体裏側の「+ / 月・分」キースイッチを押します。
受付番号が1プラスされます。

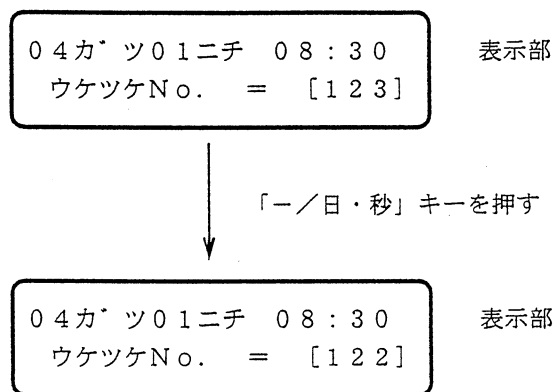


- ② キースイッチを押し続けると次々に1ずつ加算されて行きます。
但し、“999”以上には、なりません。
キースイッチを離せば終わります。

5-3. 受付番号の減算修正

通常は、受付番号の減算は必要ありませんが、なんらかの理由により減算修正が必要になった場合は、次のようにします。

- ① 本体裏側の「- / 日・秒」キースイッチを押します。
受付番号が1マイナスされます。

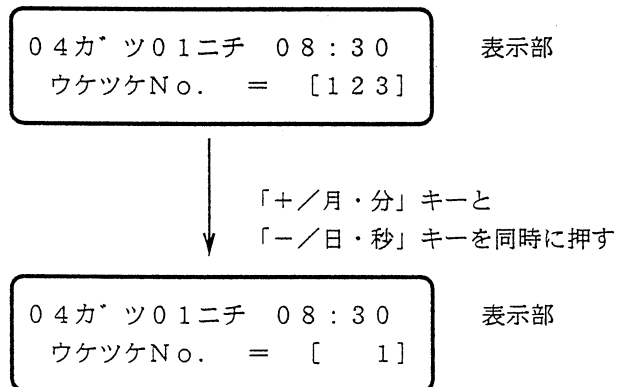


- ② キースイッチを押し続けると次々に1ずつ減算されて行きます。
但し、“1”以下には、なりません。
キースイッチを離せば終わります。

5-4. 受付番号のクリアー

通常は、受付番号のクリアーは必要ありませんが、なんらかの理由により受付番号を”1”に戻したい場合は、(例えば、午後からの受付を”1”からにしたい等) 次のようにします。

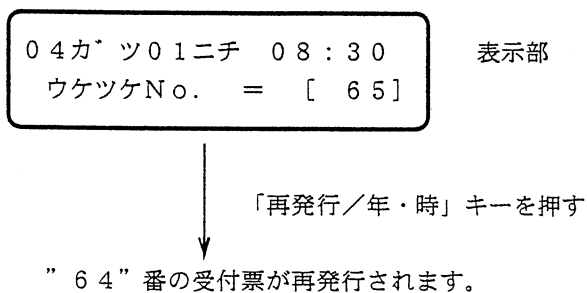
- ・ 本体裏側の「+ / 月・分」キースイッチと「- / 日・秒」キースイッチを同時に押します。
受付番号が”1”になります。



5-5. 受付票の再発行

通常は、受付票の再発行は必要ありませんが、なんらかの理由により受付票を再発行したい場合は、次のようにします。

- ・ 本体裏側の「再発行/年・時」キースイッチを押します。
受付票が再発行されます。この時の受付番号は表示部に表示されている番号-1になります。

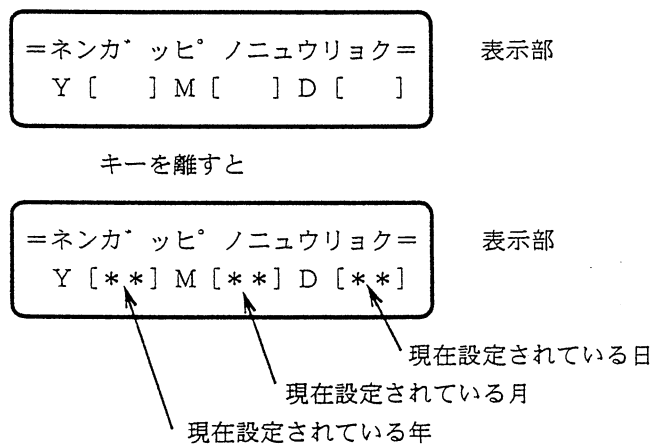


- ・ 再発行は、何度でもできます。
受付番号が“1”の場合は、受付番号“1”の受付票が発行されます。

6. 時刻（時計）の修正

本機は、内部に水晶時計を持っており、その精度は、月差±30秒以内ですが、水晶の特性上、温度変化の激しい場所や、本機が処理しきれないほどの電源電圧の変動等によって誤差が生じる場合があります。その場合は、次の方法で修正して下さい。

- ① 本体の電源を切ります。
- ② 本体裏面の「FEED/MODE」キースイッチを押したまま電源スイッチを入れます。
- ③ 表示部に次の表示が出たら「FEED/MODE」キーをはなします。

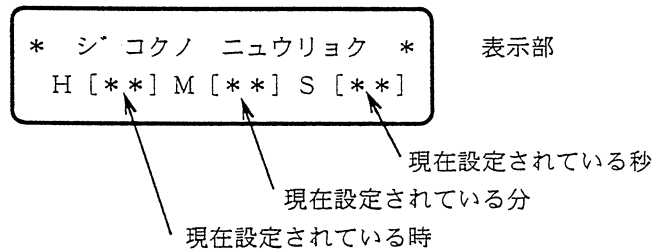


- ④ 必要ならば数値を変更します。

- ・年の変更は、本体裏側の「再発行/年・時」キースイッチを押します。キースイッチを押すと年の数値が加算されます、押し続けると次々に1ずつ加算されていきます。”99”を越えると”00”に戻ります。年の設定は、西暦の下2桁を設定して下さい。

- ・月の変更は、本体裏側の「+ / 月・分」キースイッチを押します。
キースイッチを押すと月の数値が加算されます、押し続けると次々に1づつ加算されていきます。”12”を越えると”01”に戻ります。
- ・日の変更は、本体裏側の「- / 日・秒」キースイッチを押します。
キースイッチを押すと日の数値が加算されます、押し続けると次々に1づつ加算されていきます。”31”を越えると”01”に戻ります。

- ⑤ 変更の必要がないか、必要な変更を終了すれば、「FEED/MODE」キースイッチを1度押します。表示は、次のようになります。



- ⑥ 必要ならば数値を変更します。

- ・時の変更は、本体裏側の「再発行 / 年・時」キースイッチを押します。
キースイッチを押すと時の数値が加算されます、押し続けると次々に1づつ加算されていきます。”23”を越えると”00”に戻ります。
時年の設定は、24時間制で設定して下さい。
- ・分の変更は、本体裏側の「+ / 月・分」キースイッチを押します。
キースイッチを押すと分の数値が加算されます、押し続けると次々に1づつ加算されていきます。”59”を越えると”00”に戻ります。
- ・秒の変更は、本体裏側の「- / 日・秒」キースイッチを押します。
キースイッチを押すと秒の数値が加算されます、押し続けると次々に1づつ加算されていきます。”59”を越えると”00”に戻ります。

- ⑤ 変更の必要がないか、必要な変更を終了すれば、「FEED/MODE」キースイッチを1度押せば、時刻の変更を終了します。

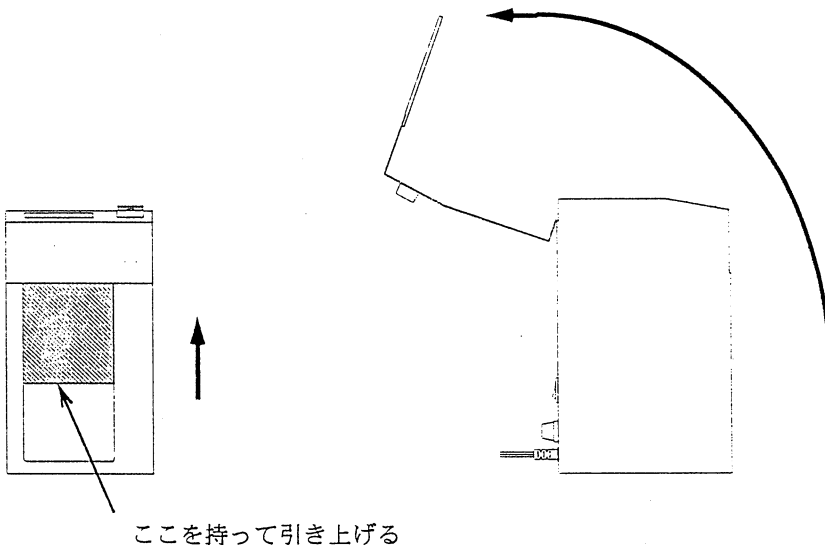
7. 紙切れ、記録紙の供給

記録紙が無くなると、本機は、ブザーをピーピーと連続して鳴らし、表示部に次のメッセージを表示します。速やかに手順に従って記録紙を供給して下さい。

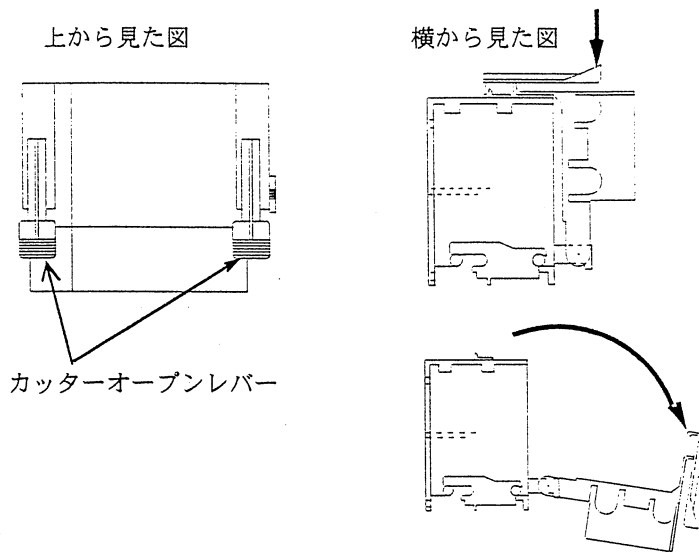
!! カミキレ ! ウケツケニ
レンラクシテ クタサイ

表示部

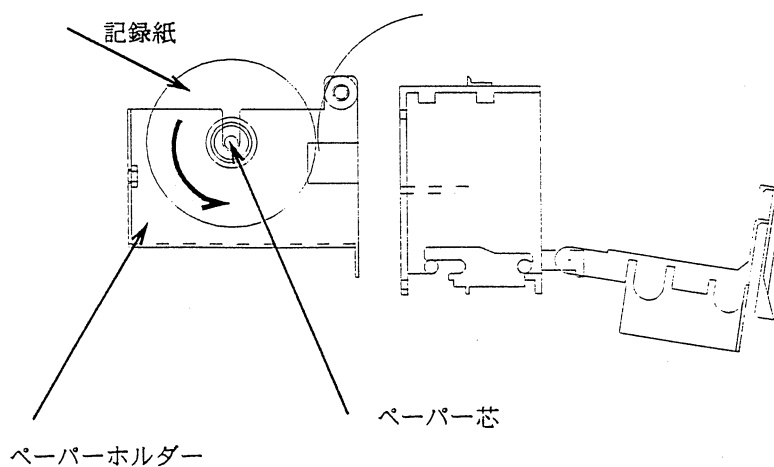
- ① 本体裏面の「再発行/年・時」キースイッチを押してブザーを止めます。
- ② 前面カバーの亚克力部の下端を持って上に引き上げ前面カバーを開きます。



- ③ プリンター本体のカッターオープンレバー2ヶ所を押し、カッター部を引き下げて下さい。



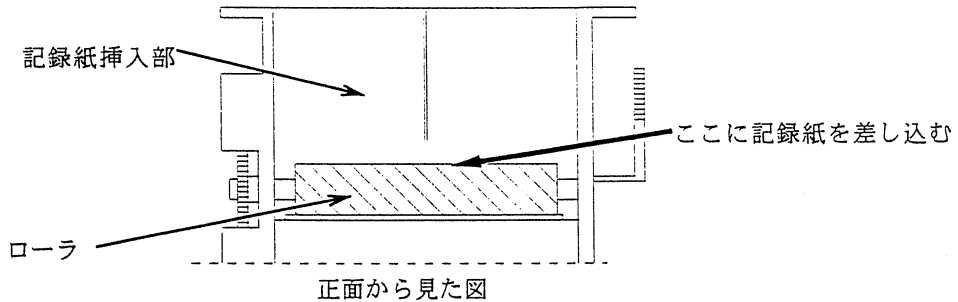
- ④ 残りの記録紙がプリンター内に残っている場合は取り除いて下さい。
- ⑤ ペーパーホルダーからペーパー芯を外し、前記録紙の紙芯を取り除き新しい記録紙を入れて下さい。



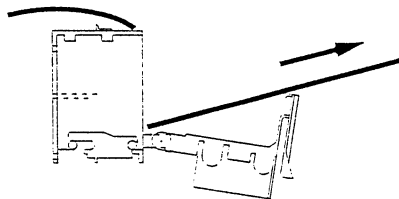
- ⑥ 記録紙の端をまっすぐに記録紙挿入部のローラの所に差し込んで下さい。

オートローディング機構が働き記録紙を巻き込みます。

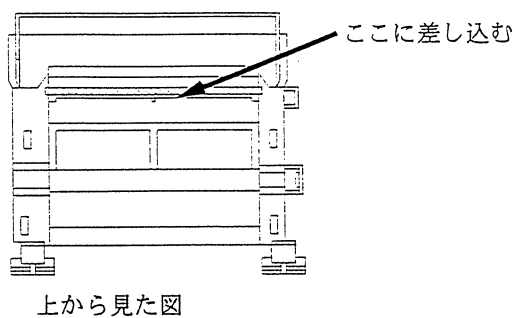
オートローディング機構がうまく働かない場合は、「オートローディング機構がうまく働かない場合」の項を参照して下さい。



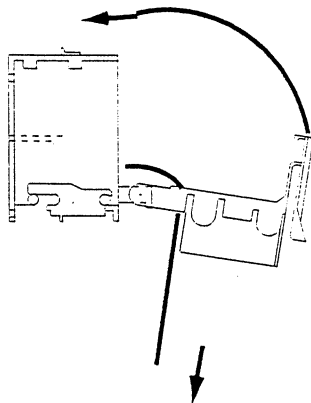
- ⑦ ローラから出てきた記録紙を約10cm引き出します。



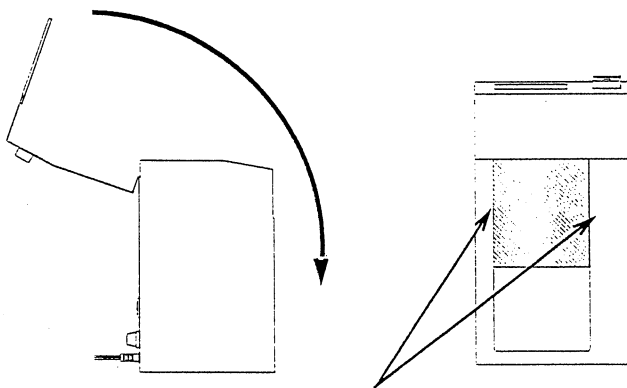
- ⑧ 記録紙の端をカッター部に差し込みます。カッターが閉じていて差し込めない場合は、「カッターが閉じている場合」の項を参照して下さい。



- ⑨ カッター部から出た記録紙を少し引っ張りながら（弛みの無いようにしながら）カッター部を元に戻します。この時、カチッと音のするまで戻して下さい。



- ⑩ 前面カバーのアクリルがピタッとはまるように注意して前面カバーを元に戻して下さい。



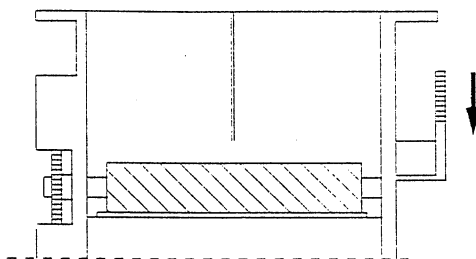
ここがうまくはまるようにする。

- ⑪ 本体裏面の「FEED/MODE」キースイッチを1度押して下さい。記録紙切れ時に印刷できなかった残りが印刷されます。
- ⑫ 本体裏面の「再発行/年・時」キースイッチを押して、受付票を再発行して下さい。

- ・ オートローディングがうまく働かなかった場合

オートローディングがうまく働かなかった場合は、次の手順に従って下さい。

- ① ヘッドアップレバーを下に下げて下さい。



- ② 記録紙が自由に出し入れ出来る状態になりますので、記録紙をローラの後ろを通して出てくるまで差し込んで下さい。
- ③ ローラから出てきた記録紙を約10cm引き出します。
- ④ 記録紙の端をカッター部に差し込みます。カッターが閉じていて差し込めない場合は、「カッターが閉じている場合」の項を参照して下さい。
- ⑤ カッター部から出た記録紙を少し引っ張り弛みの無いようにしながらカッター部を元に戻します。(記録紙がフリーの状態なのであまり強く引っ張らないで下さい) この時、カチッと音のするまで戻して下さい。
- ⑥ ヘッドアップレバーを元に戻して下さい。記録紙切れ時に印刷できなかった残りが印刷されます。
- ⑦ 前面カバーのアクリルがピタッとはまるように注意して前面カバーを元に戻して下さい。
- ⑧ 本体裏面の「再発行/年・時」キースイッチを押して、受付票を再発行して下さい。

・カッターの刃が閉じている場合

カッターの刃が閉じていて記録紙をカッター部に差し込めない場合は、次の手順に従って下さい。

- ① ヘッドアップレバーを下げている場合は、ヘッドアップレバーを戻して下さい。ヘッドアップレバーが下がっていない場合は、(通常の場合) 本体裏面の「FEED/MODE」キースイッチを1度押して下さい。
- ② 印刷の残りを印刷すると共にカッター部が動いて、カッターの刃が開いた状態になります。
- ③ 記録紙の端をカッター部に差し込みます。
- ④ カッター部から出た記録紙を少し引っ張り弛みの無いようにしながらカッター部を元に戻します。この時、カチッと音のするまで戻して下さい。
- ⑤ 前面カバーのアクリルがピタッとはまるように注意して前面カバーを元に戻して下さい。
- ⑥ 本体裏面の「再発行/年・時」キースイッチを押して、受付票を再発行して下さい。再発行された受付票は、一部が抜けていますので、もう一度「再発行/年・時」キースイッチを押して正しい受付票を発行して下さい。

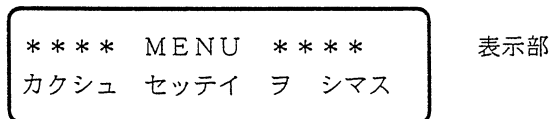
8. 各種登録・選択処理（メニュー処理）

本機は、使用される方のご都合に合わせてるように、幾つかの機能を登録・設定・変更が可能となっています。これらの登録・設定・変更を行う処理を、メニュー処理と呼びます。

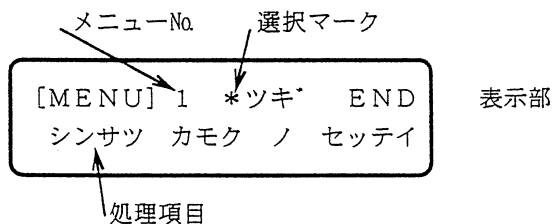
メニュー処理で、登録・設定・変更された機能は、必要のない限り1度行えば内部に記憶されます。また、これらの登録・設定・変更は、いつでも行えます。

・メニュー処理の行い方

- ① 本体裏側の「再発行／年・時」、「＋／月・分」、「－／日・秒」の3つのキースイッチを同時に押したまま電源スイッチを入れます。次のような画面が出るまでキースイッチを押したままにします。



- ② キースイッチを全て離しますと、メニュー画面になります



- ③ メニューNo.は、現在何番目のメニューに居るかを示すメニュー処理の番号です。

選択マークは、どの処理もしくは項目を選ぶかを示すマークです。

選択マークは、「＋／月・分」または、「－／日・秒」のキースイッチを押すことによって移動させることが出来ます。
- ④ 選択マークを必要なところに移動し、「FEED/MODE」キースイッチを押すとその処理をします。

- ・ 選択マークが [ツギ] の所にある場合「FEED/MODE」を押すと次のメニューNoになります。メニューNoは次々と進めるとメニューNo.1に戻ります。

[MENU] 2 *ツギ* END
シ*コク インシ*ノ センタク

表示部

- ・ 選択マークが [END] の所にある場合「FEED/MODE」キースイッチを押すと、メニュー処理を終了して、通常の受付票発行処理となります。

[MENU] 1 ツギ* *END
シンサツ カモク ノ セッテイ

表示部

- ・ 選択マークが [処理項目] の所にある場合「FEED/MODE」キースイッチを押すとその項目の登録・設定・変更の処理となります。

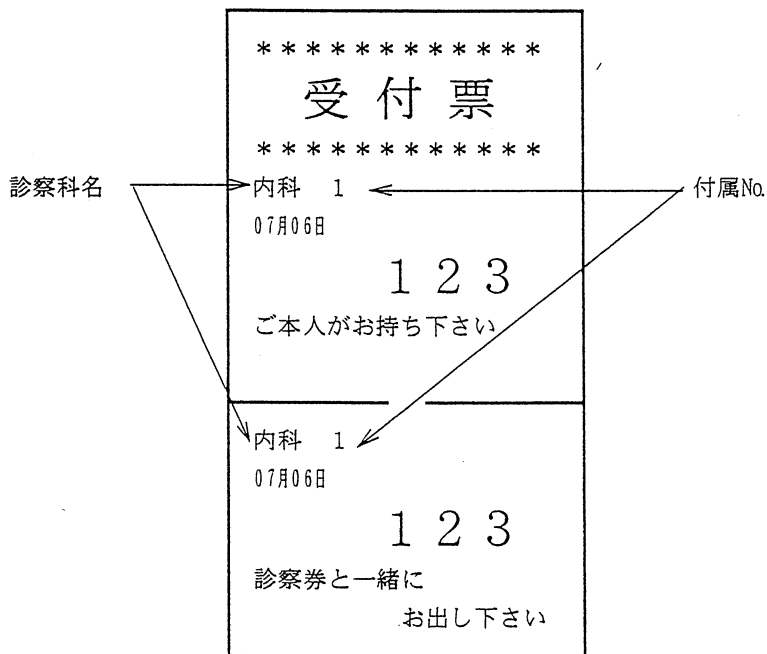
[MENU] 1 ツギ* END
*シンサツ カモク ノ セッテイ

表示部

8-1. 診察科名・付属No.の登録（メニュー1）

[MENU] 1で処理項目を選択すると、受付票への診察科名、付属No.の登録となります。

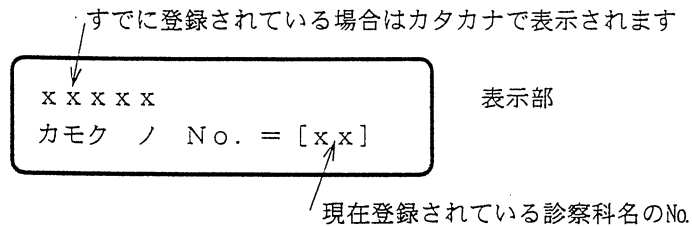
受付票に、下図のように診察科名、付属No.を登録する事ができます。本機を複数台ご使用になる場合は、必要に応じて登録して下さい。登録は、導入時に一度だけ行えば、変更の必要がない限り内部で記憶されています。



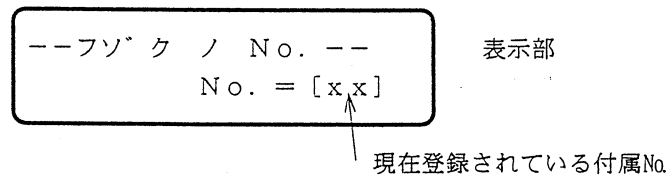
診察科名と付属No.は、どちらか1方だけでも登録できます。
登録できる診察科目名は約40種類、付属No.は、99まで登録できます。

8-1-1. 登録方法

- ① メニューからこの処理に来ますと、次の画面になります。



- ② 「+ / 月・分」キーおよび「- / 日・秒」キーを使って、必要な診察科目名を登録して下さい。診察科目名とNo.の関係は、「8-1-2. 診察科目名」の項を参照して下さい。'00'を登録した場合は、受付票の診察科目名の所になにも表示されません。
- ③ 良ければ、「FEED / MODE」キースイッチを一度押して下さい。付属No.の登録になります。



- ④ 「+ / 月・分」キーおよび「- / 日・秒」キーを使って、必要な付属No.を登録して下さい。'00'を登録した場合は、受付票の付属No.の所になにも表示されません。
- ⑤ 良ければ、「FEED / MODE」キースイッチを一度押して下さい。メニュー画面にもどります。
- ⑥ 通常の処理（受付票の発行処理）に戻った後「再発行 / 年・時」キーを押して受付票を1枚発行して下さい。この受付票には、前の診察科名、付属No.が付いています。次からは登録した診察科名、付属No.になります。

8-2. 時刻印字の選択 (メニュー2)

[MENU] 2で処理項目を選択すると、受付票への時刻印字の選択となります。

受付票に、下図のように受付時刻を印字する事ができます。必要に応じて選択して下さい。選択は、導入時に一度だけ行えば、変更の必要がない限り内部で記憶されています。

受付票	

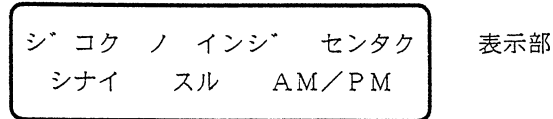
内科 1	
07月06日11時37分 ←	受付時刻
1 2 3	
ご本人がお持ち下さい	

内科 1	
07月06日11時37分 ←	
1 2 3	
診察券と一緒に お出し下さい	

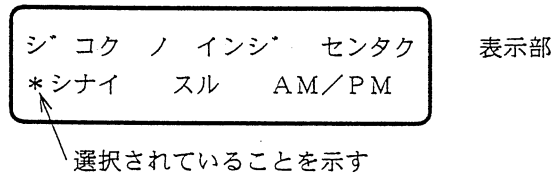
受付時刻の他に、受付時間が午前中か午後からかによって、'AM' または 'PM' の印字とすることもできます。この場合、受付時間が12:00を過ぎると 'PM' の印字それ以前なら 'AM' が印字されます。

各印字の選択は、次のように行います

- ① メニューからこの処理に来ますと、次の画面になります。



- ② 現在選択されている項目の前に' * ' マークが出ます。



- ③ 「+ / 月・分」キーおよび「- / 日・秒」キーを使って、必要な項目を選択して下さい。(選択する項目の前に' * ' マークを移動させて下さい)
- ④ 良ければ、「FEED / MODE」キースイッチを一度押して下さい。メニュー画面に戻ります。
- ⑤ 通常の処理（受付票の発行処理）に戻った後、「再発行 / 年・時」キーを押して受付票を1枚発行して、日付の後ろが選択した印字（シナイを選択した場合は、何も印字されない。スルを選択した場合は、発行された時間が、AM / PMを選択した場合は、AMまたはPMが印字）となっていることを確かめて下さい。

8-3. オフセット値の登録（メニュー3）

[MENU] 3 で処理項目を選択すると、オフセット値の設定となります。

通常は、受付票のNoは、「1」から順に発行しますが、本機を複数台使用する場合、受付票の番号が重ならないよう（例えば、2台の本機を使用し、1台目は、1～499まで、2台目は、500～999とする場合）受付票を発行するために、任意の数値から任意の数値までの受付票発行とすることが出来ます。

登録は、導入時、又は、必要時に1度行えば内部に記憶されています。

例えば、200から始まり、399までの受付票を発行するように設定するには、次のように登録します。

- ① 本機裏側の「+ / 月・分」のキースイッチを押したまま電源スイッチを入れます。表示部に下図の画面が表示されたらスイッチを離します。

オフセット / セッテイ スタート = []	表示部
----------------------------------	-----

- ② 現在登録されている始まりの数値が表示されます。

オフセット / セッテイ スタート = [* * *]	表示部
----------------------------------	-----

↑
現在登録されている始まりの数値

- ③ 「+ / 月・分」キーおよび「- / 日・秒」キーを使って、数値を変更して下さい。ここでは、200から始まるようにするので、「200」にします。

オフセット / セッテイ
スタート = [200]

表示部

- ④ 良ければ、「FEED/MODE」キースイッチを一度押して下さい。つぎの、本機での受付番号の最後の数値の登録になります。

オフセット / セッテイ
エント* = [***]

表示部

現在登録されている最後の数値(ただし、最後の数値が始まりの数値より小さい場合は、自動的に始まりの数値となっています。)

- ⑤ 「+ / 月・分」キーおよび「- / 日・秒」キーを使って、数値を変更して下さい。始まりの数値より小さい数値を登録することは出来ません。ここでは、399を最後の数値にするので、「399」にします。

オフセット / セッテイ
エント* = [399]

表示部

- ⑥ 良ければ、「FEED/MODE」キースイッチを一度押して下さい。本機は、始まりの数を「200」とし、最終の数値を「399」とします。

ツキ* / ヨウニ セッテイシマシタ
[200] カラ [399]

表示部

- ⑦ メニュー画面に戻ります。

なお、受付票を発行された方が、惑われないよう「本機は、200番から始まります」の表示をされますようおすすめします。

8-4. 発行枚数の選択（メニュー4）

[MENU] 4で処理項目を選択すると、受付票の発行枚数の選択となります。

本機は、受付票の発行が2枚綴りになっていることを最大の特徴としますが、受付の流れ上1枚のみの発行で良い場合は、1枚の発行とすることも出来ます。

2枚発行の受付票

***** 受 付 票 ***** 内科 1 07月06日 1 2 3 ご本人がお持ち下さい
内科 1 07月06日 1 2 3 診察券と一緒に お出し下さい

1枚発行の受付票

***** 受 付 票 ***** 内科 1 07月06日 1 2 3 お呼びするまでお待ち下さい

枚数の選択は、次のように行います

- ① メニューからこの処理に来ますと、次の画面になります。

ハッコウ マイスウ センタク
2マイ 1マイ

表示部

- ② 現在選択されている項目の前に「*」マークが出ます。

ハッコウ マイスウ センタク
* 2マイ 1マイ

表示部

↑
選択されていることを示す

- ③ 「+ / 月・分」キーおよび「- / 日・秒」キーを使って、必要な項目を選択して下さい。(選択する項目の前に「*」マークを移動させて下さい)
- ④ 良ければ、「FEED / MODE」キースイッチを一度押して下さい。メニュー画面に戻ります。
- ⑤ 通常の処理(受付票の発行処理)に戻った後、「再発行 / 年・時」キーを押して受付票を発行して、設定した枚数の受付票になっていることを確かめて下さい。

8-5. メニュー一覧表

メニューNo.	項目	内容
1	診察科目の設定	受付票に設定した診察科目を印字する
2	時刻印字の選択	受付票に受付時刻を印字するかを選択する
3	オフセット値の設定	受付番号をある番号からある番号までに制限する
4	受付票の選択	受付票を2枚綴りにするか1枚にするかを選択する

メニュー1画面

[MENU] 1 ツキ* END
*シンサツ カモク ノ セッテイ

メニュー2画面

[MENU] 2 ツキ* END
シ コク インシ* ノ センタク

メニュー3画面

[MENU] 3 ツキ* END
*オフセット ノ セッテイ

メニュー4画面

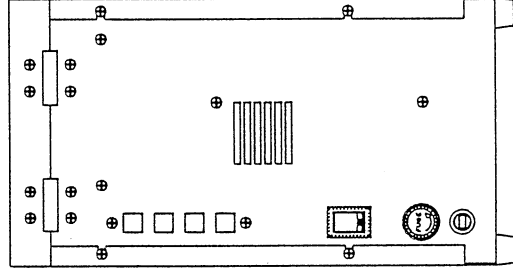
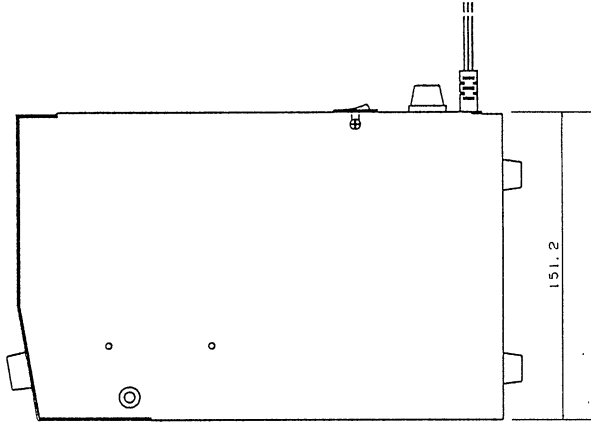
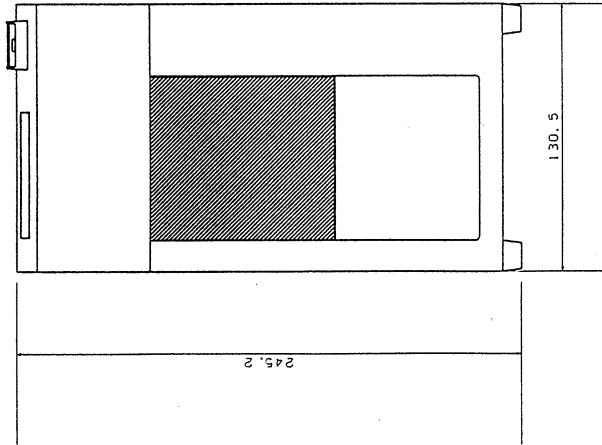
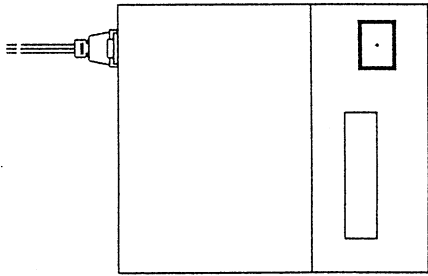
[MENU] 4 ツキ* END
*ウケツケヒョウ ノ センタク

9. 仕様

印字方式	感熱ラインドット方式
印字幅	48mm
記録紙	TP-251C 内径11mm、外径50mm (約25m)
受付票	パーシャルカットによる2枚つづり
印刷速度	約2.5秒/2枚
寿命	25℃定格エネルギー 耐カット性 300,000カット 耐パルス性 5000万パルス (印字率25%) 耐摩耗性 30km以上
入力	受付ボタン x 1 受付票発行用 発行可能表示灯付き 17x24mmメカニカルキー LED表示灯付き コマンドキー x 4 各処理用 9x9mmタクトスイッチ
出力	電子ブザー 入力確認用 エラー通知用
時計	水晶時計 月差 ±30秒
バックアップ時間	約2週間
外形寸法	寸法図参照
重量	約3kg
使用環境	温度 0~45℃ 湿度 80%以下(結露なきこと)
電源	電圧 AC100V(85~120) 電流 1.2A(Type)

10. その他

- ・長時間使用しなかった場合、ペーパーが変形して、最初の1枚がうまく紙受けに落ちない場合があります。その場合、上面カバーを少し持ち上げると、紙受けに落ちます。引っかかったまま次々に受付票を発行しますと、紙づまりを起こします。
長時間使用しなかった後、電源スイッチを入れた場合、「再発行/年・時」キースイッチを押して正常に受付票が発行されることを確かめて下さい。
- ・プリンターのメカおよび印刷ヘッドは、消耗品です。印字がかすれたり、1部抜けたりする場合は、寿命であることが考えられますので、購入店か、弊社にご相談下さい。
- ・長時間（約2週間）以上電源を入れない状態が続きますと内部のバックアップ用電池が消耗し登録したデータや時刻が正しくなくなる場合があります。この場合、時計および登録データを正しく修正し、8時間程度（出来れば12時間）電源を入れておいて下さい。バックアップ用電池が再び充電されます。
- ・本機は内部にマイクロコンピュータが組み込まれています。通常は問題ありませんが、雷、瞬電（極短い停電）等の影響により、極まれに内部の登録データ、時刻等が変更される場合があります。登録データ、時間を設定し直せば問題ありませんが、度々起こるようなら、電源ラインを別の所から取ってみて下さい。それでも、度々起こるようなら弊社までご相談下さい。



型名	メモリアル発券機	設計	照査	承認	担当
名称	外觀・寸法図	処理			
図番	9802-00	尺度			
ヘルツ電子株式会社					